

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ

日本の侵略国としての加害を直視

古典探究第4回

8～11面

3面

▶ ホームページ www.dylj.or.jp ▶ Eメール minsins@dylj.or.jp

フェアプレー精神と政治的中立を守れ

公平で平等な大会を

サッカーワールドカップ北中米大会は7月19日、スペインの優勝で幕を閉じました。盛り上がりを見せた一方で、さまざまな問題が噴出しています。ワールドカップをどう見ていたか、渋谷の街頭で取材しました。また、フェアプレーを守り、健全に大会を運営するにはどうすればよいか、「しんぶん赤旗」スポーツ部長の和泉民郎さんに聞きました。(齊藤崇記者)



▶「戦争をしている国が大会を開くのはよくないと思う」と話す青年(写真左、7月15日、渋谷)

今大会は、開催国の一つである米国が、イランに戦争をしかけ継続する中、開幕を迎えました。戦争中の国がスポーツの国際大会を開くという異常事態です。また、決勝トーナメント1回戦では、米国の選手が退場となり、自動的に1試合の出場停止処分となっていました。しかしトランプ米大統領が、その処分の見直しを国際サッカー連盟(FIFA)に求め、結果その執行に1年の猶予期間を与える決定が下されました。ある青年(30)は米国選手の出場停止が見直されたことについて「ルールを上書きしているような感じがする」と言います。また「どんどん大統領としての

権限や影響力を強めて大会をゆがめていく姿勢を見て、国同士の戦争の激化につながってしまいうるだと感じた」との懸念も示しました。

取材時に日本代表のユニフォームを着ていた自営業の青年(26)は、「アメリカが大会を開くことはふさわしくなかったのでは。米国の選手への処分見直しも、いろいろな国で物議を醸しているし、よくないことだと思う」と指摘しました。

「戦争をしている国がスポーツの国際大会を開く異常性についてどのようにお考えですか？」

米国は、イランとの戦争が継続中であり、それ以前にもベネズエラへの軍事侵攻をしています。ワールドカップの歴史を見ても、他国と戦争を行っている状況で大会を開くのは前代未聞です。

大会開催の資格が問われる

ワールドカップとは、サッカーを通じて世界中の人たちが集まり、友好交流を育む場です。サッカーシャトーの大住良之さんは「人類のお祭り」だと言います。お祭りであるならば、平和に交流するのが大前提であり、平和が脅かされている下で大会を開くのはありえません。米国が大会を開催することに異を唱えないFIFAも同罪です。

イランの1次リーグ敗退が決定した後、米国土安全省長官のマリン氏が記者団に「もう彼らが米国に帰ってこないことがうれし。喜びのダンスを踊る」と発言し、激しい批判を浴びました。これらはあまりにも不公平で、露骨な嫌がらせと言えます。

「濡れ手で粟」な金もうけシステム

FIFAがチケットの高値を推進していることには、どこまでも数万円でした。かつては、どうお考えですか？

「濡れ手で粟」な金もうけシステム。FIFAがチケットの高値を推進していることには、どこまでも数万円でした。かつては、どうお考えですか？

イランは今回出場するにあたり、不当な待遇を受けました。イランは1次リーグ3試合を米国で戦うため、同国にベースキャンプを希望していましたが、米当局はこれを拒否。試合前日になるまで会場入りできませんでした。イランの選手たちはコンディションの調整が十分にできず、試合中に足をつる選手が続出しました。それだけでなく、

イランの1次リーグ敗退が決定した後、米国土安全省長官のマリン氏が記者団に「もう彼らが米国に帰ってこないことがうれし。喜びのダンスを踊る」と発言し、激しい批判を浴びました。これらはあまりにも不公平で、露骨な嫌がらせと言えます。

イランは今回出場するにあたり、不当な待遇を受けました。イランは1次リーグ3試合を米国で戦うため、同国にベースキャンプを希望していましたが、米当局はこれを拒否。試合前日になるまで会場入りできませんでした。イランの選手たちはコンディションの調整が十分にできず、試合中に足をつる選手が続出しました。それだけでなく、

イランの1次リーグ敗退が決定した後、米国土安全省長官のマリン氏が記者団に「もう彼らが米国に帰ってこないことがうれし。喜びのダンスを踊る」と発言し、激しい批判を浴びました。これらはあまりにも不公平で、露骨な嫌がらせと言えます。

FIFAワールドカップ閉幕

イランは今回出場するにあたり、不当な待遇を受けました。イランは1次リーグ3試合を米国で戦うため、同国にベースキャンプを希望していましたが、米当局はこれを拒否。試合前日になるまで会場入りできませんでした。イランの選手たちはコンディションの調整が十分にできず、試合中に足をつる選手が続出しました。それだけでなく、

イランは今回出場するにあたり、不当な待遇を受けました。イランは1次リーグ3試合を米国で戦うため、同国にベースキャンプを希望していましたが、米当局はこれを拒否。試合前日になるまで会場入りできませんでした。イランの選手たちはコンディションの調整が十分にできず、試合中に足をつる選手が続出しました。それだけでなく、

イランは今回出場するにあたり、不当な待遇を受けました。イランは1次リーグ3試合を米国で戦うため、同国にベースキャンプを希望していましたが、米当局はこれを拒否。試合前日になるまで会場入りできませんでした。イランの選手たちはコンディションの調整が十分にできず、試合中に足をつる選手が続出しました。それだけでなく、

(2面に続く)